

### 第3回意見交換会 記録

1. 日時：令和元年 11 月 10 日 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 場所：相生山緑地
3. 団体名：ラブリーアース Japan、相生山の四季を歩く会、プロジェクトみんなで描こう！相生の森公園、相生山緑地自然観察会、相生山緑地を愛する会
4. 市出席者：緑政土木局企画経理課 岩本主幹（企画）、上杉主査（企画）  
道路維持課 水谷主査（安全対策）  
道路建設課 山中課長、可児主査（事業調整）  
緑地事業課 岩本課長、中村緑地計画係長
5. 参加者：17 名
6. 当日の次第
  - (1) 開始のあいさつ
  - (2) 現地説明、質疑等
  - (3) 終了のあいさつ
7. 主な質疑、意見等（○参加者、●名古屋市）  
（緑地計画について）
  - 調査範囲や場所は、どこか？
  - （手持ち資料を用いて）図示
  - 秋の環境調査は、いつ行っているのか？
  - 11 月 1 日より植生調査、11 月 11 日以降はホタル調査を行う予定。
  - どのコンサルが調査し、何名程度か？
  - 修成建設コンサルタントで、4～5 名程度。
  - ホタル調査は、何か所で行うのか？
  - 100 か所程度で行う。
  - 過去に道路建設課が行った調査範囲と異なるのではないかと？
  - 園路案の検討のための調査なので調査範囲は異なる。  
（園路について）
  - 既存の設備を活用した場合、その後の維持管理費はどの程度か？
  - 明確には算出していない。
  - 整備済みの施設を取壊しや、そのまま活用するなどの今後の判断材料として、維持管理費を出してほしい。これは要望。
  - 維持費も含めた全体事業費の比較で、取壊す、活用するなどの判断をしたい。
  - 前提として整備済み施設を活用することが、市長指示も含めて現在の事業の方針なので取壊すことは検討していない。ただし、皆さんからの意見を伺いながら進めて行く事業なので、そういった意見も参考にしていきたい。
  - 園路案の用地は、道路建設のために買収した用地を利用するのか？
  - 園路案が確定していないため、明確には言えない。
  - 環境調査で、希少な動植物が発見されたら園路案はどうなるのか？
  - 行政だけで判断することは難しいので、専門家や学識者に相談し検討していき

い。

(道路について)

- 別の道路案を作ろうとしているのではないか？
- 本日の説明を聞くと、道路建設に戻ることはないようなので安心した。道路賛成派の方は道路建設を過去形で説明したことについて納得しているのか？
- シェルター上部の土の厚みは？
- 計画は 2m、東側では覆土が完成しておらず一部 1m 程度。
- 土の厚みや排水を考えると植物に良い環境では無いのではないか？
- 地面に植わっていることと比べればそうだと思う。
- シェルター上部の仮の排水管は、土壌があることで詰まることあるのではないか？
- そうなる可能性もある。
- シェルター上部において、将来、植物の根が伸び深さ 2m を超えるとコンクリートに影響しないのか？
- コンクリートの厚みが 1m 程度あり構造的には大丈夫だと考えている。
- あの青いパイプは何か？
- シェルター上部の仮の排水管。
- 先ほど、シェルター上部にもホタルがいることを説明され、いかにも道路建設をしてもホタルへの影響がないような説明をうけた。そういった事例をもとに道路建設が環境に影響を及ぼさないと既成事実化しようとしているのではないか？
- あくまで、そういった事例もあることを説明したもの。ホタルについて、様々な方から様々な意見が寄せられていることは、承知している。しかし、あくまで市長からの指示は道路廃止でありそれを前提として事業を進めている。
- もし、整備済みの施設を取壊した場合、費用はどの程度必要か？
- 当時、取壊しや処分だけでも 10 億程度を想定していた。
- もし、残りの未整備部分を施工した場合 7 億円で完了できるのか？また、取壊した場合の費用 10 億円は本当か？
- 両方とも、あくまで当時の想定であり物価や人件費も当時の想定なので現時点で施工するとそれ以上の額になると考えられる。

(整備プログラムについて)

- 市議会、委員会での様子を見てみると道路建設が再開されてしまうように感じて心配である。
- 名古屋市は、議会制を採用しているので市長の考えや市議会の考えのそれぞれがあり、尊重されるべきである。難しい問題だが行政としては、市長の判断に基づき事業を進めることが前提となる。